

## 地域の活動拠点が持つ機能と立地環境・周辺施設に関する研究 千葉県道の駅を対象として

### A Study on Functions and Locational Environment / Surrounding Facilities Possessed by Local Activity Bases As the target Michi-no-eki in Chiba prefecture

○山口 瑛人<sup>1</sup>, 山中新太郎<sup>2</sup>

\*Akito Yamaguchi<sup>1</sup>, Shintaro Yamanaka<sup>2</sup>

This paper investigates the functions of Michi-no-eki as the base of the area and between the locational environment and the public facilities in the vicinity. It quantitatively analyzes the tendency of the space where the local people can conduct activities and research subjects from categorized by segmented location environment and public facility classification. As a result, depending on the location, the function was found to be greatly affected.

#### 1. 研究背景と目的

若者の都市部への流入や少子高齢化などの諸要因で地域社会の人口規模や経済規模が徐々に衰退し、地方部では限界都市・集落が今後急増すると危惧されている。様々な町おこしや、地域活性化などの政策が行われているなか、近年「道の駅」が注目をあび、設置する自治体・公共団体が増えている。道の駅は、地域の拠点として配置することで地域活性化を促し、地域住民の生活や社会的活動の維持、地域の魅力を発信し、人を呼び込むなど、多面的な役割を持つ施設である。

本研究では、地域の拠点となる道の駅が有する機能と立地環境や周辺の公共施設との関係を調査し、地域民が活動を行える空間の傾向について分析する。

#### 2. 研究対象と方法

平成 29 年 8 月 5 日時点で国土交通省<sup>[1]</sup>に登録されており、千葉県で開設している「道の駅」27 施設を対象とする。

方法は、①研究対象が有する機能を各施設のホームページやパンフレット、国土交通省 HP を利用し、機能を抽出・区分化する。②農林水産省が設定する土地利用指標の「農業地域類型区分」<sup>[2]</sup>の第一分類を利用し、研究対象の立地を類型化する。③地図サービス、各設置市町村のサイトの公共施設一覧を利用し、研究対象から半径約 1km 以内の公共施設を抽出・施設区分化する。④類型・区分化した立地環境・公共施設区分から、研究対象の機能との関係性を定量的に分析する。

#### 3. 区分・類型化

①研究対象の機能区分を物産・飲食、室内体験、野外体験、広場、歴史・文化の 5 つとし、Tab.1 に示す。②立地観光の分類化を「農業地域類型区分」より、都市部、平地部、

中山間部の 3 つに分類する。③周辺の公共施設の施設区分を行政、社会教育、福祉施設、運動施設、教育、子育て、その他の 6 つに区分し、Tab.2 に示す。また本研究では主に、地域民のためのイベントや居場所、活動拠点となる、室内体験機能 (Fig.1) 及び広場機能 (Fig.2) に着目し分析する。また、室内体験機能及び広場機能いずれかを所持施設のみ抽出し、対象施設の区分を Tab.3 に示す。



Fig.1 室内体験例



Fig.2 広場例

(出典:「道の駅やちよ イベント」<sup>[3]</sup>より引用)

Tab.1 機能区分

機能区分	内容	具体機能
物産・飲食	地域の食材を活かした商品や飲食物の販売する機能	特産物売売所
屋内体験	室内で物作りやイベント、会議等を行う機能	ギャラリー
野外体験	農業体験や果物狩りなど施設に隣接した機能	体験農園
広場	イベントやアクティビティの行える広場機能	公園・子供広場
歴史・文化	地域の歴史や文化、伝統を発信する機能	博物館

Tab.2 施設区分

施設区分	具体施設									
	市役所	公民館	集会所	文化会館	図書館	博物館				
行政										
社会教育	地域センター	公民館	集会所	文化会館	図書館	博物館				
福祉施設	保健センター	高齢福祉施設	介護センター							
運動施設	スポーツ施設									
教育	小学校	中学校	高等学校							
子育て	幼稚園	児童館	保育所	児童施設						
その他	消防署	警察	病院	振興施設	工場	倉庫	公営住宅			

Tab.3 対象施設区分一覧

No.	名前	機能区分			立地	施設区分							
		室内体験	広場			行政	社会教育	運動施設	教育	子育て	福祉施設	その他	
1	とみうら (枇杷倶楽部)	○			平地	○		○	○	○	○	○	○
3	やちよ	○	○		都市		○			○	○	○	○
5	鴨川オーシャンパーク	○	○		中間								
6	ローズマリー公園	○	○		平地								
7	ふれあいパーク・きみつ	○	○		山間								
9	ただけらの里おたき	○			中間								
11	あずの里いちばら		○		平地								○
12	りもと		○	○	平地								○
13	くろ心・潮風王国		○	○	中間			○					○
20	南房バラダイス	○	○		中間								○
21	水の郷さくら	○			都市	○	○	○	○	○	○	○	○
25	季菜里あさひ		○		都市								○
26	保田小学校		○		中間								○
27	みのりの郷東金		○		都市	○	○	○	○	○	○	○	○

1 : 日大理工・学部・建築 2 : 日大理工・教員・建築

#### 4. 集計と分析

分析例として、立地別の各機能の保有率を Fig.3、各機能別の立地割合を Fig.4 (共に屋内体験、広場機能のみ抽出) に示す。また、屋内体験機能をもつ施設の周辺公共施設の割合を Fig.5、広場機能を持つ施設の周辺の公共施設の割合を Fig.6 に示す。(対象施設を Tab.3 に示す)

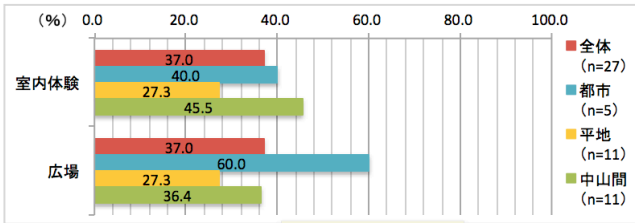


Fig.3 立地別の各機能の保有率

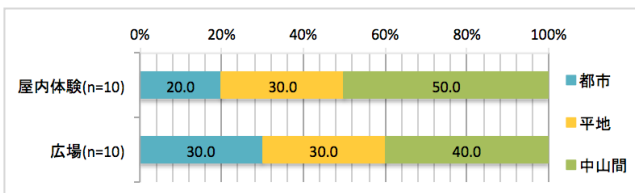


Fig.4 各機能別の立地割合

Fig.3 より、都市部に位置する対象施設は全体の割合 (平均) より屋内体験及び広場機能の両方が高いことが分かる。特に、広場は 60.0%あり多く整備されている。

Fig.4 より、機能別でみるといずれも中山間部が多く占めている。特に、屋内体験機能は 50.0%占めており多く分布している。

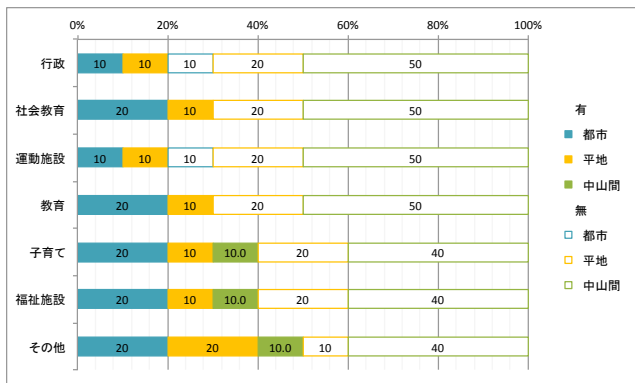


Fig.5 屋内体験機能と周辺公共施設の割合 (n=10)

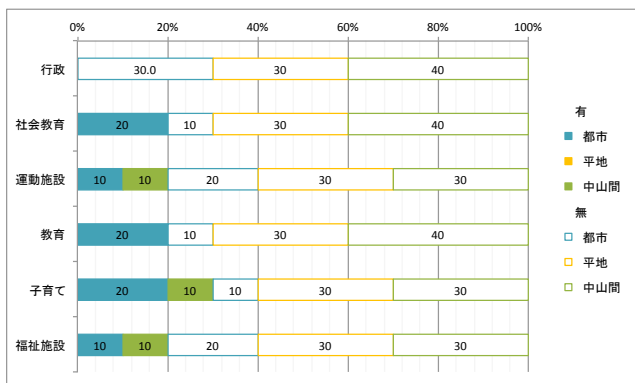


Fig.6 広場機能と周辺公共施設の割合 (n=10)

Fig.5 より、行政、社会教育、運動施設、教育の公共施設が中山間部では立地しておらず、公共施設と屋内体験機能の関係性が低いことがわかる。対症的に都市部では、公共施設が多く立地し、公共施設と屋内体験機能の関係性が高いことがわかる。Fig.6 では、都市部は行政以外の公共施設が多く立地しているのに対し、平地部では公共施設が全く立地していないことがわかる。また、中山間部でも、運動施設、子育て、福祉施設で該当施設はあるが、いずれも割合が低いとわかる。

#### 5. 考察

立地環境で顕著に機能傾向があらわれた。都市部の施設は、周辺に多くの公共施設をもつことから生活機能の密集地に位置していることが分かる。また、特に広場機能を強く有していることから、都市部では道の駅は郊外のアクティビティの行える公園として機能しているのだと推察できる。平地・中山間部は周辺施設をあまり持たず、生活機能から離れていることがわかる。中山間部の施設では、地域民や観光客などの活動を行える機能を多く有していることから、活動拠点として機能する可能性が期待される。平地部は、交流施設を持つ施設が地域圏から離れており、活動機能をあまり有していないことから拠点となりづらいと推察する。

#### 6. 結論と展望

立地する環境によって、機能は大きな影響を受けることがわかった。人口が多く利用人数も多くを見込める都市部は、道の駅を設置数こそ少ないものの機能は充実している。人口の比較的少ない平地・中山間部は、道の駅が活動機能を持っていないながらも、単独で立地しているため地域での利用が少ないと推察する。

今回の研究で、過疎部の道の駅ほど観光目的の傾向が強いことがわかった。公共施設であるのだから、地域の活動拠点としてまず地域民に利用される仕組みをつくれば、更なる地域活性化につながるのではないかとと思われる。

#### 【参考文献】

- [1]<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html> (国土交通省道路局 HP) (最終閲覧 2017.9.24)
- [2][http://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki\\_ruikai/setsumei.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikai/setsumei.html) (農林水産省 HP「農業地域類型区分について」) (最終閲覧 2017.8.26)
- [3]<http://www.yachiyo-agri.org/event/index.html> (道の駅やちよ HP 農業センターイベント) (最終閲覧 2017.9.29)